

全国地理教育学会第18回大会プログラム

大会テーマ

地歴連携授業の理論と方法

※郵送した大会プログラムに間違いがありました。教室は、1号館(誤) → 2号館(正)です。
修正してあります(黄色マーカー)。大変申し訳ありませんでした。

大会は非会員の方も参加できます

期 日 2024年11月3日(日)

会 場 専修大学神田キャンパス 2号館1階 103-107 教室

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8

電話 03-3265-5973 (インフォメーション)

・水道橋駅(JR)西口より徒歩7分

・九段下駅(地下鉄/東西線、都営新宿線、半蔵門線)出口5より徒歩3分

・神保町駅(地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線)出口A2より徒歩3分

主 催 全国地理教育学会

全国地理教育学会事務局：〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

女子聖学院中学高等学校 柏倉康成

URL:<http://www.jageoedu.jp>

E-mail: y_kashiwakura@joshiseigakuin.ed.jp

大会事務局連絡先(大会関係問い合わせ先)

大会委員長 牛込 裕樹 090-1846-3359

専用メールアドレス taikai@jageoedu.jp

参加費 大会参加費 1500円 (会員・非会員)

懇親会費 5500円

期日、時程

11月3日(日)	8:40	受	付
	9:20~12:00	一般研究発表	
	12:15~13:00	評議員会	
	13:20~16:20	シンポジウム	
	16:50~17:20	総	会
	18:00~19:30	懇	親 会 (1号館15Fホール)

● 一般研究発表 9:20-12:00

※ 1発表につき、発表時間は、発表15分、質疑4分、計19分

【第1会場】 (2号館1F 104教室)

座長 101-103: 浅田 学 (東京医療保健大学・非)

101 9:20-9:35-9:39

ロイロノートを活用した小学校社会科授業
-第3学年「店で働く人と仕事」の実践からの考察-

河野 富男 (香川県坂出市金山小学校)

102 9:40-9:55-9:59

地域学習におけるAIの批判的検討と利活用
-Society5.0時代を生き抜く力をつける探究学習-

橋本 隆生 (共栄大学)

103 10:00-10:15-10:19

小学校社会科における身近な地域の様子の学習の課題とあり方
-平成29年版学習指導要領による教科書の分析を通して-

佐藤 浩樹 (神戸女子大学)

-休憩 20分間-

座長 104-107: 清水 学 (立教女学院中学校・高等学校)

104 10:40-10:55-10:59

静かなる地理教育の危機3
-小学校社会科における地理的内容の薄弱化問題-

伊藤 裕康 (文教大学)

105 11:00-11:15-11:19

小・中学生の群馬県認識の実態と自県学習の課題

谷田部喜博 (群馬県教育委員会)・群馬社会科教育学会

106 11:20-11:35-11:39

自然環境を重視した日本の諸地域学習-地図を効果的に活用することを通して-

池下 誠 (日本女子大学・非)

107 11:40-11:55-11:59

一種独特な地誌学習 (日本の諸地域学習) の出現-地誌学習の危機-

山口 幸男 (群馬大学名誉教授)

【第2会場】 (2号館1F 106教室)

座長 201-203: 横山 満 (全国地理教育学会副会長)

201 9:20-9:35-9:39

教師の実体験に基づく「水」をテーマにした高等学校地理総合の教材開発と授業実践
-協働的問題解決学習を通して-

伊藤 裕康 (文教大学)

○松岡 洋介 (鳴門教育大学教職大学院・徳島県立脇町高等学校)

202 9:40-9:55-9:59

地理総合における巡検を取り入れた授業づくり

椿 実土里 (北海道恵庭高等学校)

203 10:00-10:15-10:19

—休憩 20 分間—

座長 204-206：松岡 路秀（専修大学・非）

204 10：40—10：55—10：59

地誌学授業の工夫とその成果—静態・動態・比較地誌の導入を通して—

菊地 達夫（北翔大学短期大学部）

205 11：00—11：15—11：19

地方大学におけるアジア地誌の授業実践—学生の参加と国際交流に留意して—

今井 英文（山陽学園大学・非）

206 11：20—11：35—11：39

SDGs 観光地理教育—大学での授業と実践—

酒井喜八郎（南九州大学）

207 11：40—11：55—11：59

社会人教育・歴史教育における地歴連携の事例研究

寺尾 隆雄（都立白鷗高等学校附属中学校・非）

● 評議員会 12：15—13：00 （2号館1F 103教室）

● シンポジウム 13：20—16：20 （2号館1F 105教室）

テーマ：地歴連携授業の理論と方法

趣 旨

「地歴連携」は地理教育にとっても、社会科教育にとっても、本質的な重要性を持つ研究テーマである。学習指導要領では、前学習指導要領において地歴連携の重要性がかつてないほど強調され、現行学習指導要領ではややトーンダウンしたものの、その重要性の指摘は変わらない。本学会では、過去に大会や例会のシンポジウムにおいて取り上げ、学会誌『地理教育研究』には、地歴連携に関する多くの論考が掲載されている。これらの蓄積を踏まえ、地歴連携授業について整理し、まとめる段階に入りつつあるといえる。

そこで、本シンポジウムでは、これまで地歴連携授業について精力的に研究・実践されてきた3人の方々に発表していただき、地歴連携授業の理論と方法について整理し、まとめる方向で議論を展開したい。また、今回は、新たな試みとして、地理学研究者（歴史地理学）からのコメントをいただき、より厚みのある議論にしていきたいと考える。

なお、本学会では8月の例会を「地公連携」をテーマに開催した。そこで、地理と歴史と公民の3者の連携「地歴公連携授業」も将来的な視野に入れておきたい。

発表者：

①今井 英文（山陽学園大学・非）

学習指導要領における地歴連携の捉え方

②小澤 裕行（犬山市立城東中学校）

地理学習における地歴連携授業の方法と実践

③山本 實（元・豊島岡女子学園）

歴史学習における地歴連携授業の方法と実践

コメンテーター：藤田 裕嗣（神戸大学名誉教授）

オーガナイザー：山口 幸男（群馬大学名誉教授）

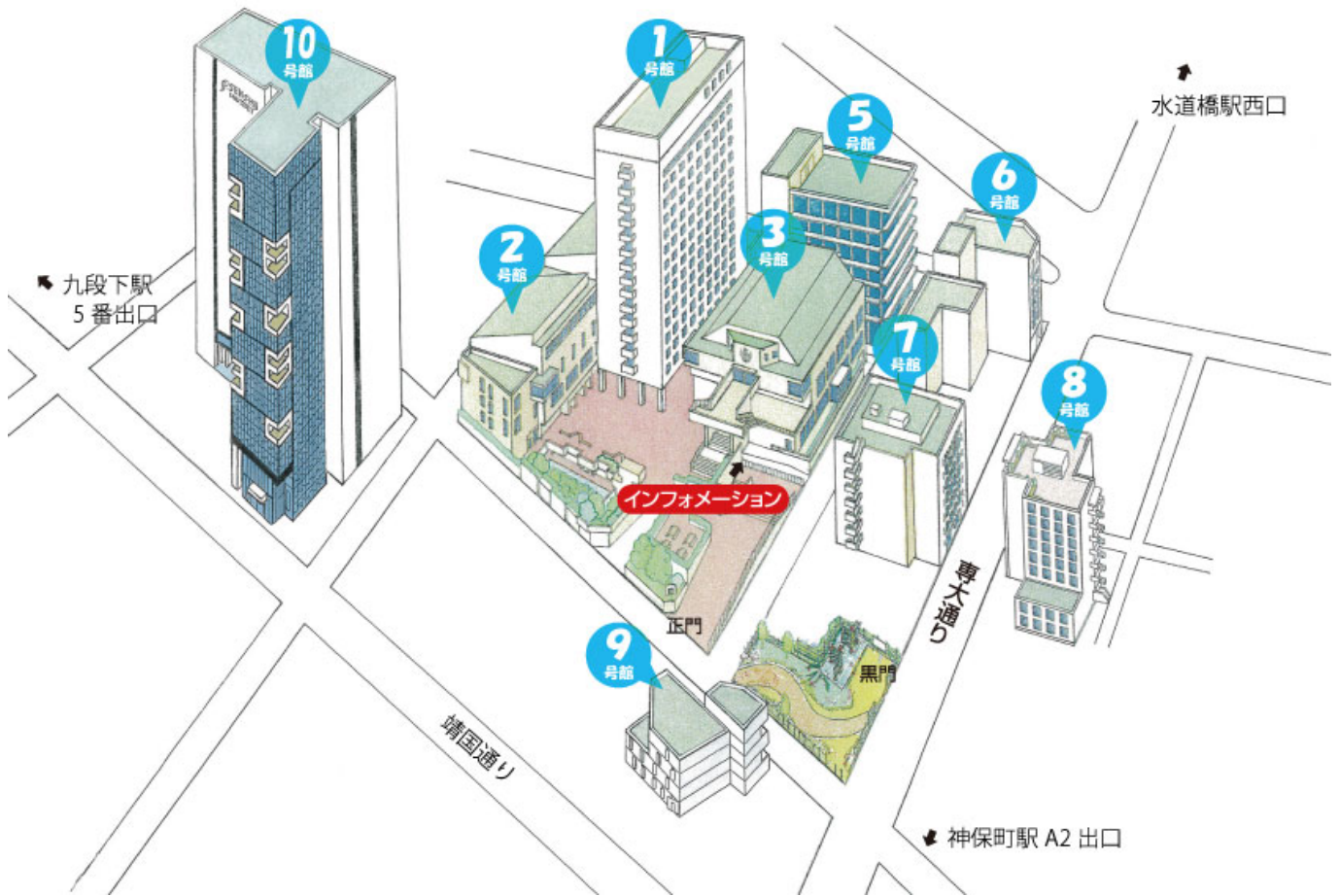
牛込 裕樹（大妻中野中学校・高等学校）

● 総 会 16：50—17：20 （2号館1F 105教室）

●交通及び会場案内図

○大会会場

専修大学 神田キャンパス **2号館**



- ・水道橋駅（JR）西口より徒歩7分
- ・九段下駅（地下鉄／東西線、都営新宿線、半蔵門線）出口5より徒歩3分
- ・神保町駅（地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線）出口A2より徒歩3分

●教室配置図

